

# 第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

## 小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	加賀市立片山津中学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	夢授業の取組みとして、スワトンカンパニーを設立する

### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

#### 1. 活動に至る経緯

第2学年総合的な学習の時間において、「片山津地区の未来を見つめ、『住みよいまちづくり』に主体的に参画し、持続可能な社会の創り手となり得る（まちづくり）」という探求学習を行っている。

ここでは、STEAM教育の特徴を生かした「実社会の課題解決」と「協働的プロジェクト学習」を推進し、さらにその学びを深めるために、ものづくりやデジタル作品など、現実のものとしてのアウトプット、プレゼンテーションとすることが解決の方向性であった。

#### 2. 活動・研究の目的（ねらい）

生徒が課題意識をもって学校や地域、そして未来（将来）を見据え、自分たちのために会社を起業し経営する体験を通して、生徒の主体的、協働的、創造的な力を培う機会・場面として位置づける。

#### 3. 活動内容

(1) 起業講話 講師：株式会社 北國銀行 チーフ アカウントマネージャー 高田 彬氏

実施時期 6月：対象…3年生

11月：対象…2年生

講話内容 ・融資を受けるための信用、信頼の大切さ（基本的倫理観に裏付けがある）

・付加価値のあり方（モノとマッチングした物語が重要である）

生徒感想

「起業」と言われると、成功するのが難しくて、すごい人達にしかできないんだろうなと感じていたり、私が起業するなんて考えたこともありませんでした。でも、今回のお話で、自分のやりたいことで誰かの役に立てたり、誰かを笑顔にできたりするのは自分も他の人もハッピーになれて仕事することが楽しくなるんだろうなと感じました。お金周りのことも知れて、起業する人はかかる費用のことも考えていて、きっと大変なんだろうけど、自分の好きなことで誰かを笑顔にできたら楽しいんだろうなと感じました。それに、お金を借りるにしても、何かの代表になるにしても、「信用」って大事なんだなと再確認させられました。何に対しても、信用してもらうことで、できることが広がって事業の成功率も上がるのだと思いました。今までよりも、起業に興味を持てたし、やってみたいと思いました。

#### (2) SWPBS 研修（教職員研修）（6・8月）

講師：金沢工業大学心理科学研究所

情報フロンティア学部

心理科学科

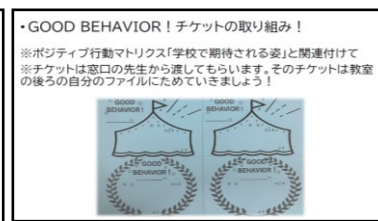
教授 石川 健介氏

研修を受けての実践

- ・PBS マトリクス
- ・PBS 週間の設定
- ・グッド・ビヘイビアチケットと缶バッジの運用

	期待	行動	感情	結果
目標	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。
行動	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。
結果	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝えることができる。

ポジティブ マトリクス



グッド ビヘイビア チケット

(3) SwatonCompany と SwatonTime

・先進校視察研修（10月）

長野市立東部中学校 EastCompany の視察

→生徒が思考し、判断し、表現する機会にあふれた取り組みであり、大いに参考になった。

・SDGsを軸にした課外活動（7月～令和6年3月）

7月：3年生生徒会執行部にガイダンスを行い、3社が起業

8月：3つの企業が経営予備作業として活動を始める。

①スワトンCafé…廃棄牛乳の再使用を考えたレシピの考案と調理、職員への販売

②スワトンクラブ…共生社会の実現を視野にパラスポーツ・ボッチャを取り入れた競技会運営企画

③スワトン畑…飢餓問題の解決を念頭に、校地を開拓、ゼロから食料を作り上げるための計画と実践

9月～：企業①～③において、全校生徒に呼びかけての自主活動

・参加生徒は企業活動に参加し校内通貨を獲得、獲得した校内通貨を用いてサービスを受ける。

・校内循環型経済活動

・文化祭（11月）には来校保護者にむけてのサービスや成果物（人参、銀杏、胡桃）の披露と提供

10月～：2年生「総合的な学習の時間」における起業準備活動

・プチ Company の立ち上げと実践

①地域特産物の有効活用（レシピと試作）

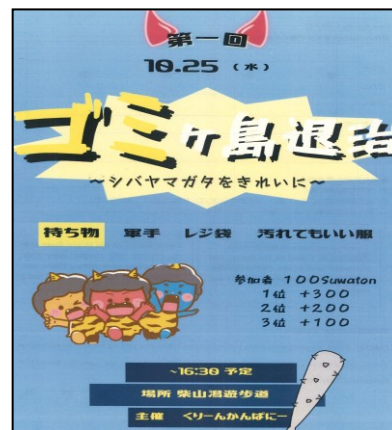
②フードドライブの模索（社旗福祉協議会との連携）

③柴山湯遊歩道の清掃（地域貢献）

令和6年1月～：2年生が起業し、経済活動を再開させる。



校内通貨 Swaton



地域貢献パンフレット



「北国新聞」令和5年11月11日



「広報かが」 令和5年11月号

4. 生徒たちへの効果（成果・課題）

(1) 成果・SWPBS を土台として、自己肯定感を高め、自主性の向上を見ることができた。

・起業体験により、「やりがい意識」を高め、主体性を形にすることができた。

(2) 課題 持続可能な取り組みとして位置づけること。

・地域資源の活用から、地域への参画意識を強めること。

・活動にストーリー性を持たせ、多様性を意識できる取り組みとすることで、主体性を高め続けること。

・コミュニティスクールとの連携をより強め、地域に開かれ、支持される取り組みを目指すこと。